



夢中になって問い続ける生徒をめざして (3年目)

校長 山本一雄

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より、本校の教育研究の推進にご理解とご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

本校は令和元年度より研究主題を「夢中になって問い続ける生徒の育成」として、研究を行っております。「夢中になって問い続ける生徒」とは、端的に言えば「主体的に問いを持ちながら、学びを深められる生徒」のことです。このような生徒を育成するためには「教科の本質に迫る授業の工夫」が欠かせないと考え、日々の授業実践及び研究に打ち込んで参りました。本年度は本研究主題での3年目を迎え、各教科の学習を学び終え、実社会で生きる姿までを見据えた授業研究を行っております。

新型コロナウイルス感染対策により、オンラインでの開催となります。ご多用の折とは存じますが、ぜひご参加いただき、ご指導ご助言を賜りたくご案内申し上げます。



実社会で生きる姿までを見据えて

研究主任 小田修平

新型コロナウイルスは、これまでの「常識」を「非常識」にし、これまでの「非常識」を「常識」に変えていっています。アフターコロナの社会においてもこのような目まぐるしい変化は取まるところか加速するのではないのでしょうか。そのような中でも、社会の変化に追従するのではなく、主体的に考え、多様な他者と共によりよく生きようとする人になってほしい。それが私たちの願いです。そのために学校でどのような力を育むべきか、そして各教科等の学びは実社会でどのように生きていくのか。本年度は「教科等の学習を学び終え、実社会で生きる姿までを見据えた授業を構想していきます。多くの先生方に忌憚のないご意見をいただき、子どもたちの未来につながる研究を進めていければ幸いです。



申し込みから当日のご参加までの流れ

※申し込みは8月23日から



QRコード



①左のQRコードを読み込み、必要事項をご記入ください。最後に、送信ボタンをクリックしていただく申し込み完了です。

※いただいた個人情報は、当研究発表会の運営以外には使用いたしません。
※資料の準備の都合上、9月24日(金)までに、お申し込みください。

参加費は無料です。

1分科会
定員100名です
早めの申し込みを
お願いします。

②入力いただいたメールアドレスに、資料及び、動画の視聴方法を配信いたします。10月1日(金)に配信予定です。また、分科会IDとパスワードもメールでお知らせします。提案資料や配信動画は、研究発表会前にご覧いただくと幸いです。

③10月8日(金)当日は、13時より受付をします。Zoomでご参加ください。ただし、参加中の映像・写真・音声等の録音・録画はご遠慮ください。

問い合わせ



ご不明の点があればどうぞお尋ね下さい。

熊本大学教育学部附属中学校 主幹教諭 若山 竜介(わかやま りゅうすけ)

〒860-0081 熊本県熊本市中央区京町本丁5番12号

TEL: 096-355-0375 FAX: 096-355-0379

URL <https://www.kumamoto-fuchu.ed.jp> E-mail r-wakayama@educ.kumamoto-u.ac.jp

問い続けた
先にあるもの

夢中になって問い続ける生徒の育成
教科の本質に迫る授業の工夫を通して

令和3年10月8日(金)

主催 熊本大学教育学部附属中学校
後援 熊本県教育委員会
熊本大学教育学部情報教育研究会
熊本大学教育学部附属中学校同窓会

熊本市教育委員会
熊本大学教育学部同窓会
熊本大学教育学部附属中学校教育後援会

10月8日(金)の日程 オンライン(Zoom)で参加してください



13:00	13:30	13:45	13:55	15:05	15:20	16:00
Zoom受付	全体会	休憩	分科会 (各教科の提案・研究協議)	休憩	全体会 (生徒への質問タイム)	閉会

多くのご参加を
心よりお待ちしております。

分科会



教科等	提案者	教科等の学習を学び終え、実社会で生きる姿	教科等からの提案	研究協力者	助言者
国語	益田俊男 荒牧剛志	言葉に立ち止まり、言葉への自覚を高めながら思考力や想像力を働かせ、考えを形成する土台となる言葉の価値を美感じ、言葉をもとに世界の認識を広げ、深めようとする人	「少年の日の思い出」で「考えの形成」をゴールに据えた授業に挑戦しました。「作品の『鍵』となる表現は何か?」という課題について単元を通して考えながら、最後に学級全体で交流した実践を公開します。発表会当日は、単元づくりについて、評価について、みなさんと語り合えたらうれしいです。	熊本市立江原中学校 西本 真也 宇城市立不知火中学校 原武 聡子	熊本市立帯山中学校 田邊 文子 熊本市立立石中学校 赤星 征典
社会	小田修平 山本 翔	社会的事象に対して問いを持ちながら、資料等を基に正しく認識し、社会的な見方・考え方を働かせて多面的・多角的によりよい解決策を考え、世代や地域(国家)を越えて、持続可能な解決を図ろうとする人	これからの人生で自分たちの生活基盤となる「労働」と「健康」、これらの日本における現状を既習事項を生かしながら学び、学ぶことで新たに生まれてきた疑問や課題を考察し、「労働」と「健康」において現在と未来の実社会で必要な事は何かを導き出す様子を公開します。	合志市立西合志南中学校 中牟田 進 熊本市立下益城城南中学校 矢部 彰人	熊本市立立石中学校 赤星 征典
数学	河本健二 末藤美妃 廣田智明	日常生活や社会の事象について、数学的な見方・考え方を働かせて、数学の問題を見だし、解決し、得られた結果を、活用・意味づけし、誰もが納得できるような、よりよい物事の解決を図ろうとする人	単元のまとめの授業において、課題を解決した後解決の過程を振り返る場を設定します。そこで、生徒が新たに疑問をもったことについて生徒自身が追究していく姿を目指した授業を公開します。	熊本市立飽田中学校 越地 真人 熊本市立出水中学校 澤田 昌宏	菊陽町立菊陽中学校 野村 優資 熊本市立立石中学校 赤星 征典
理科	西田成一 富永誠太郎 井上 健	自然の事物現象に対して問いを持ち、理科の見方・考え方を自在に働かせながら、科学的な問題解決を図り、絶えず真理を求めることで、自然を敬い、自然と人間が共存する社会をつくらうとする人	「見た目が似ている物質をどうすれば分類できるのか。」という学びのテーマのもと、子どもたちが自分の学びを振り返り、自己調整しながら、課題解決を図っていきます。そして、実社会ともつながりのある課題を、これまで培った力を活用しながら、科学的に探究しようとする姿を公開します。	熊本市立東野中学校 川上 和也 荒尾市立荒尾海陽中学校 赤星 愛	熊本市立立石中学校 赤星 征典
音楽	米田衣里	生活や社会の中に存在する様々な音や音楽に気づき、音楽的な見方・考え方を働かせながら音や音楽を捉え、自分にとっての価値と音楽的意味を関連付けて、生涯にわたり音楽に親しみ、楽しもうとする人	映像が発するメッセージを伝えるためには、どのような音楽があうのだろうか。旋律やリズムに着目して、生徒が試行錯誤しながら、メッセージをより豊かに伝えるための音楽づくりに取り組む姿を公開します。	熊本市立立石中学校 柿原 智郁生	熊本市立出水中学校 高野 理沙
美術	古閑健育	社会や生活の中の形や色彩などの造形の要素に着目し、造形的な視点を豊かに持ち、形や色彩などによるコミュニケーションを通して思いを巡らせ、心豊かな生活を創造していこうとする人	学校には、何気なく生活している校舎、無機質な壁、何も感じることがないいつもの廊下があります。水彩絵の具の技法を活用して、見て、感じて、楽しめる廊下を目指し、生徒が思考を巡らせ作品制作に取り組む姿を公開しますのでご覧ください。	熊本市立三和中学校 村田 崇	熊本市立京陵中学校 伊藤 亜希子
保健体育	山崎香織 長浦卓也	運動・スポーツに対して自己の適性等に応じた様々な関わり方を見だし、健康・安全について自身の生活に繋げ、主体的に考え、行動したりすることで、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現しようとする人	生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現していくために、中学校3年間を見据えた、つながりのある授業を設定していくことが大切であると考えます。今回は、1年生において球技「ネット型:プレルボール」の授業で、生徒が運動やスポーツの関わり方を見出しながら授業に取り組む姿を公開します。	熊本市立城南中学校 前田 路子	菊池市立泗水中学校 東 克彦
技術	三浦寿史	将来対峙する課題に対して「〇〇するためにはどうすればいいのだろう?」という、社会に対する「思い」や「願い」といった問いを持ち、「技術の見方・考え方」を働かせ、技術の担い手として社会に対してテクノロジーを活かそうとする人	今一度、学び続けたい価値を問うてみたい。「受験問題ではなく、社会の問題を解くのだ」とは、そのために技術分野にはどんな役割があるのだろうか。実践的・体験的な学習を通して、そこの学びが何だったのかを社会とつながることをみなさんと模索できたらと思います。	山鹿市立山鹿中学校 藤本 喜士	合志市立合志楓の森中学校 井上 竹久
家庭	上國料由己子	生涯にわたってよりよい生活とは何かを問いながら、実現を目指して「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせて、自分や家族、地域の人々の生活における課題解決を図り、工夫し創造していこうとする人	家庭分野におけるSDGsって何だろう。「持続可能な社会の構築」に向けた行動、「健康・快適・安全」を優先させた生活、実際の生活におけるジレンマを考えながら、本当の意味でのよりよい生活の実現を目指したいと考えています。「成果にコミットするわが家のSDGs」をテーマに実践を行い、学びを深めていく姿を公開します。	熊本市立二岡中学校 金丸 悠子	合志市立合志楓の森中学校 小山 裕子
英語	宮本和彦 若山竜介 甲斐 旭	多文化共生社会を生き抜くために、外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションの目的・場面・状況等に応じて、情報を整理しながら考えを形成し、多様な他者(ことば、文化、立場、価値観等の違い)とコミュニケーションしようとする人	単元のゴールに向かって、生徒同士が様々な立場で意見を交流し、その活動を「共感・調整・解決」の視点で振り返りながら価値付け、内容面での改善を図ります。生徒が相手意識を持ってやり取りを行う姿を公開しますのでご覧ください。	熊本市立白川中学校 富田 晃弘	菊池市立菊池南中学校 矢野 多希
健康教育	河嶋里亜	生涯を通じて健康を保持増進し明るく豊かな生活を営むために、保健の見方を見出し、自身をみつめ他者と関わりながら解決していく実践力を備えた人	学校教育の基盤であり、様々な教科等と関連の深い健康教育には、学んだことを実生活や実社会で生かす実践力を培うための工夫が必要です。生徒に「つながりや関わりを意識させ、これから健康に生きていくために何が大切なのかについて、生徒たちが協働的に考えたり、感じたりして、学んでいく姿を公開します。	玉名高等学校附属中学校 内田 容子	上天草市立大矢野中学校 林田 葵